

HUMANITAS

教養教育紀要

第 50 号

Nurturing Academic Vocabulary Knowledge Growth with Learner-Inspired Materials

……Paul Mathieson, Claire Murray… 1

地方詩としての *The Waggoner* について

…………… 吉 田 泰 彦 …… 23

ヤスパースの医師観

…………… 池 辺 寧 …… 45

奈良県立医科大学

2025

Nurturing Academic Vocabulary Knowledge Growth with Learner-Inspired Materials

.....Paul Mathieson, Claire Murray... 1

Wordsworth's *The Waggoner*—A Poem on the “localities.”

..... Yasuhiko Yoshida..... 23

Jaspers' Auffassung von Arzt

..... Yasushi Ikebe..... 45

編集後記

本誌『HUMANITAS』は本号で第50号となりました。記念すべき第50号にはボール・マシソン先生と吉田泰彦先生、池辺の3論文を掲載することができました。

本誌が創刊されたのは1971年ですが、創刊号の「編集後記」には発刊にあたっての思いが綴られています。

「(前略)しかし文科系の学問の雰囲気は豊かであるとはいえない。医科大学として当然であるが一抹の寂しさを禁じえない。そこで学問的雰囲気の拠点として、また専門の領域は異なるにせよ相互の理解と励ましの場として、雑誌を出すことにした。」

「編集後記」を書かれたのは当時、ドイツ語教授であった大原親先生(故人)です。ドイツ語教室は廃止され、「文科系の学問の雰囲気」はますます寂しくなるばかりですが、「相互の理解と励ましの場」という本誌創刊の趣旨を受け継ぎ、今後とも本誌を刊行し続けていきたいと思います。創刊号の「編集後記」はさらに次のように続きます。

「医科大学における文科系学科の果す役割は、これからますます重要になってくるし、なっていかなければならない。これは決して我田引水ではない。生きていくということが、どんなにすばらしく意味あるものであるかということを、最も根底的に学ぶのが文科系の学問であるからだ。また、人間の生命の不可思議さと貴さへの畏敬なくして、いかなる医学もありえないからである。(後略)」

医科大学における人文学教育の意義を強く訴えた文章であり、今日においても古びていません。ただ、残念ながら、人文学教育の意義がなかなか理解されないということも一向に変わっていません。それどころか、ますます理解されにくくなっています。

本年4月には、「畝傍山キャンパス」と名づけられた新キャンパスが開校され、教養教育部門はそちらに移転することになっています。本誌創刊号に書かれた上記の文章を振り返りつつ、気持ちを新たにして教育・研究の充実にいっそう励んでいきたいと存じます。

編集委員 池辺 寧(哲学)

HUMANITAS 第 50 号

印 刷 2025 年 3 月 15 日
発 行 2025 年 3 月 25 日

非売品

編集兼 〒 634-8521 橿原市四条町 840
発行所 奈良県立医科大学教養教育部門
印刷所 〒 634-0003 橿原市常盤町 214
吉村印刷社

T E L 0744-24-3737
F A X 0744-24-3745
